

見守られている・支えられている

校長 斉藤 境栄

本校の児童は保護者、地域の方々、たくさんの方々に見守られています。支えられています。本校学校運営協議会の委員の方々も関わってくださっている活動もあります。

① 校庭の芝生の管理

学校運営協議会環境部の方々、地域住民の方々、保護者の皆様、東光寺小の児童など、たくさんの方々が芝生の管理作業に参加してくださって、校庭の芝生が維持されています。ありがとうございます。芝生管理作業の当番の割り振りは、PTA ボランティア管理委員の皆様が行ってくださっています。芝生管理作業への参加は、PTA に加入、未加入にかかわらず、本校に通学する児童全家庭にお願いしております。作業への参加、ありがとうございます。来年度、PTA 役員、活動の改編が準備・計画されています。活動方法等の変更がありますが、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。1 年中芝生が管理されているおかげで、体育学習や校庭で休み時間に遊んでいるときのけがが少なくなっていること、けがをしても軽傷で済んでいることがあります。温暖で程よい気候の時には、芝生に寝転がって休み時間を過ごしている児童も見られます。

② 登下校の見守り活動

本校の正門前で日野警察署東光寺駐在所 平柳篤さんや通学路安全運転呼びかけ隊など地域の皆様が毎日、登下校を見守ってくださっています。挨拶、児童への声かけや励まし、温かい言葉をかけてくださっています。下校時、授業が終わり家路を急いで正門付近まで走ってくる児童が時々見られます。そんな時に横断歩道前での一時停止を声かけくださっています。

一部を紹介しましたが、児童はたくさんの方々に見守られ、支えられて育っています。見守ってくださっている、支えてくださっている方々は、児童のため、学校のため、地域のために活動くださっています。たくさんの方々の支えがあって児童は健やかに成長します。日頃の活動に感謝いたします。今後もよろしくお願いいたします。

【安全・安心部】 「1」への想いを寄せて

学生1年目。社会人1年目。一念発起。一発逆転。一生懸命。一番大切なもの。一番愛するもの。一番好きなもの。等々。

沢山の1（一）がありますね。

生まれるときは一人でも、一番最初に出会うのはお母さん。そして、成長しながら一生を沢山の人の支えられながら生きて行く。

一番気の合う人と親友になり、一番好きな人と一緒にいる。

一番最初でも、一番最後でも大丈夫。何もない人はいません。ゼロ（〇・零）からのスタートでなく1からのスタートを大切にしてください。

昨年、小学校生活をスタートした1年生の皆さん。

まもなく卒業を迎える6年生の皆さん。

そして、それぞれ進級する2, 3, 4, 5年生の皆さん。

上に行く環境は整いましたか。

全ての環境を整えてこそ自信と安心をもち前へ進めます。

全ての環境って？偶然整った環境かな？それとも必然（必ずそうなるに違いなく、それ以外あり得ないこと）なのかな？

どちらも言えるような気がします。

人生は筋書きの無いドラマ。先の事は誰一人として分からない。過去の出来事はすべて過去。今日も明日になれば過去となる。

過去に戻ることはできない。未来に行くこともできない。

であるならば、今を精一杯生きようじゃありませんか。

一度きりの人生。人は一度この世に生をうけたらどういう人生を歩むのか。それを決めるのは自分の心。心の持ち方が全ての行動や運命を支配していると思えます。

大切なのは「こうなりたいと強く思う。」「今日という日を一生懸命生きる。」事なのかな。どうか東光寺小学校の皆さん。過去を引きずらず、後悔をしない日々を歩んでください。

自分の思い描く一番良い未来を一番の理解者である自分自身で引き寄せてください。

（平柳 篤）

【学習部】

4月の一年生支援、年間を通しての読み聞かせと、本年度もたくさんの方にボランティアに参加していただきました。保護者の方で参加してくださる方、お子さんが卒業しても引き続き参加してくださる方、また地域の方で読み聞かせに参加してくださる方がたくさん増え、ボランティアの輪が継続し、広がっているのを感じます。お忙しい中、子供たちのために少しでも何かできればとお力を貸していただき、本当にありがたく思います。本年度もたくさんのご協力をいただきありがとうございました。

（仙田 恵実）

【環境部】 みどりの学舎応援隊について

みどりの学舎応援隊の久松です。みどりの学舎応援隊という名前を聞き慣れていないと思います。東光寺小学校校庭芝生地などの維持管理団体を総称してみどりの学舎応援隊といいます。実は東光寺小学校教職員・保護者・学校運営協議会・校庭開放委員会・地域の方々により構成されています。皆様も応援隊なのです。主旨は単純で東光寺小学校に関する人たちで校庭の芝生を維持管理していきましょうということです。時代の流れによって関わり方は変わっていくと考えますが、子供たちの通う学校の校庭芝生を少しの時間で無理のない範囲で関係する皆様に関わっていただけたらと願っております。みどりの学舎応援隊は今年で設立15年を迎えることになります。

（久松 秀樹）